

2023年度放課後等デイサービス 自己評価及び分析と改善					
チェック項目	評価				
	高い	どちらともいえない	低い		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	
	2 職員の配置数は適切であるか	7	0	0	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4	0	
分析	・生活するうえで、子どもたちが普通に生活できるよう自立を促すアプローチが重要と考え、又えて障壁を取り除く必要があります。 ・環境の構造化の理解が必要です。				
改善方針	・環境の構造化を行い、適切なサポートを実施する。 ・職員に自立に向けたバリアフリーは、環境の構造化の理解を促進させる勉強会を実施します。				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、従業員が参加しているか	7	0	0	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	4	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	
	分析	・個人情報管理体制と内部評価を定める体制を検討します。 ・PDCAサイクルの取組みについて職員の見識レベルに差がある。			
	改善方針	・個人情報保護の第三者機関JAPICの認証を取得します。 ・社内監査の実施を検討します。 ・業務でのPDCAサイクルの取組みについて、非常勤職員に理解を促す勉強会を実施します。			
	適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を実施しているか	7	0	0
10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		7	0	0	
11 活動プログラムの立案をチームで行っているか		7	0	0	
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		7	0	0	
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか		7	0	0	
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		7	0	0	
15 支援開始前には必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		7	0	0	
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		7	0	0	
17 日々の支援に際して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		7	0	0	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを必要と判断しているか		7	0	0	
19 ガイドラインの原則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		7	0	0	
分析					
改善方針					
関係機関や保護者との連携		20 障害児相談支援事業委員のサービスマニュアルにその子どもの状況に精通した関係者から情報が提供されているか	7	0	0
		21 学校との情報共有(学習計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の把握等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	0
		22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連携体制を整えているか	0	3	4
		23 学校前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との関係構築と相互理解に努めているか	6	1	0
		24 学校を訪問し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ対応する機会、そのほかの支援や取組の情報を共有しているか	3	3	0
		25 児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	0
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	0	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	1	0	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	7	0	0	
分析	・感染症の蔓延により保護者会の連携が難しい状況であったので、関係機関連携や保護者との積極的な対応を行っていった。				
改善方針	・保護者との連携を図るために、家庭連携支援を積極的に行う。				
保護者への説明責任	30 運営規定、支援の内容、利用料金等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	
	31 保護者からの苦情等の悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を促進しているか	2	4	1	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	
	35 個人情報に十分注意しているか	7	0	0	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を行っているか	7	0	0	
	分析	・感染症の蔓延により保護者会の開催が難しい状況であった。 ・個人情報について外部機関での評価を検討する必要があります。			
	改善方針	・父母会を継続的に開催を予定します。 ・ペルソナリティ(生涯学習活動)の一環として、地域住民にも開放して参加できるようにする。 ・個人情報の取扱いは、重要な課題ですので、第三者機関JAPICの認証を取得します。			
非常時の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	7	0	0	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	
分析					
改善方針					